犬と暮らす家 内見チェックリスト

（基本版）

内見のときに、犬の目線で家を確認するためのチェックリストです。大切なポイントは、その子によって変わります。チェックの数ではなく、「その子と家族の暮らしに合うか」を考える材料としてお使いください。

1. 玄関・出入り

- ☐ 飛び出しを防げる二重の区切り（ゲートや扉）をつけられるか
- ☐ 散歩後の足拭きができる場所と動線があるか
- ☐ リードや散歩グッズの置き場を確保できるか
- ☐ 来客のときに、犬が落ち着いて待てる場所をイメージできるか

2. 床

- ☐ 滑りにくさはどうか（実際に歩いて確かめる）
- ☐ 足音や爪音の響き方（建物の構造や間取りでも変わります）
- ☐ 傷や汚れに配慮した素材か、コーティング等ができるか

3. 段差・階段

- ☐ 玄関や室内の段差の高さはどうか
- ☐ 階段の勾配や幅はどうか
- ☐ シニアになっても上り下りできるか

4. 窓・庭・バルコニー

- ☐ 窓からの外の刺激（人通りや他の犬）が強すぎないか
- ☐ 庭やバルコニーのフェンス・手すりの高さとすき間（すり抜けられないか）
- ☐ 庭は広さだけでなく、安心して出られるつくりか

5. 室内の居場所

- ☐ 家族のそばで落ち着ける場所（LDKのそばなど）を作れるか
- ☐ 暖かい場所と涼しい場所、両方を選べるか
- ☐ 静かに休める場所があるか

6. 周辺環境・散歩の道

- ☐ 歩道の有無と交通量
- ☐ 夜の明るさ（街灯）
- ☐ 近くの公園や散歩コース

7. マンションの場合

- ☐ 管理規約・使用細則で飼育条件（頭数や大きさなど）を確認したか
- ☐ エントランスやエレベーターなど、共用部の動線はどうか
- ☐ 音の伝わり方は、建物の構造や間取りでも変わります

チェックが多くつく家が正解、というものではありません。その子と家族の暮らしに合うかどうかを、一緒に考えるためのリストです。

メモ